

第28回美しい農村環境写真コンテストに御入賞された皆様おめでとうございます。

7月の選考会に際し、本年より特別審査員として参加させていただきました、写真家の種清です。千葉県内で撮影された四季折々の作品を楽しく拝見させていただきました。

さて、本コンテストは、募集テーマにもある、千葉県ならではの農村の四季折々の情景、人の営みなどが表れた作品を基準に選考されます。特に上位三賞の決定に関しては、千葉県の農業土木の専門の方に一任されているということから、写真のクオリティーだけに拠らない選考という点が非常にユニークなコンテストです。いわゆる「狙いに行った写真」や「奇をてらった」被写体より、「ごくありふれた日常の農村風景」に上位入賞のチャンスがあるのではないのでしょうか。

主催者や審査委員の求めに応じた作品が入選しやすいというのは、どのコンテストにも言えることですが、特にこのコンテストは、「農村風景」が伝わる作品のほうが好ましいわけです。

またカレンダーも制作されることから、あわせて四季の移ろいを感じられる被写体だにより好ましいと思います。有名な撮影ポイントでの写真、朝焼け夕焼け、鉄道風景などにも素敵な作品は見受けられましたが、一方で、県内の農村行事、農作業風景、灌漑水路や水田など、農村やそれら事業にかかわる被写体が増えてくると、本コンテストが一層盛り上がるでしょう。

来年度のコンテストに向けての作品制作をたくさんの写真愛好家の皆様に期待するとともに、より多くの参加者と作品が集まることを願って、総評と代えさせていただきます。

2022年7月

公益社団法人 日本写真家協会会員 種清豊

第28回美しい農村環境写真コンテスト作品評

特別審査員：種清 豊 氏（日本写真家協会）

（撮影者：敬称略）

★ 最優秀賞（知事賞）

「朝焼けの中を」



（撮影場所：いすみ市 撮影者：波多野 保）

季節、時間帯、タイミングといった条件さえ揃えば見ることでできる光景。しかし、写真の心得がない人にも強く印象付ける赤一色の画面は非常にフォトジェニックであることは間違いありません。このように空が真っ赤に焼けた類似作を、過去受賞作にも見受けられることから、ある種定番の撮影スポットなのでしょう。それゆえに作者の思いを色々と考えさせてくれる一枚となりました。

★ 千葉県土地改良事業団体連合会長賞

「リモート散布」



（撮影場所：成田市 撮影者：田村 雅彦）

今ではドローンなど、プログラミングでルート入力して自動で薬剤の散布も行われていると聞きます。これはドローンではなく、無線誘導のラジコン散布なのでしょう。ヘリが画面手前に浮かび上がるように見えているのも背景のセレクトが良かったからでしょう。いいシャッターチャンスで撮影できている作品ですね。

★ 特 別 賞

【千葉県農村振興技術連盟賞】

「白銀の世界」



撮影場所：印西市印旛沼

撮影者：鈴木 康雄

農業用水路としても非常に有名な場所とのことですが、雪が木々に積もる中の快晴とのコントラストが清々しい作品です。作者の方も季節などを変えて幾度か通われた場所なのでしょう。撮影地の状況を観察して適切なフレーミングで画面を構成できている一枚です。

【千葉県多面的機能推進協議会賞】

「秋高し」



撮影場所：鴨川市大山千枚田

撮影者：黒須 雪美

大山千枚田も有名な場所ですね。このような普遍的な光景というのは季節や天候さえ良ければ素敵な情景に変わってきます。この作品もそうで、空に適度に浮かぶ夏雲が画面にいいアクセントを加えています。棚田の風景を損なわない程度の人物のサイズ感が適切な点もこの作品の見どころです。

【ちば水土里支援パートナー賞】

「天日干し」



撮影場所：銚子市

撮影者：嶋田 和子

まず、カメラポジション及びアングルがよく、そしてシャッターのタイミングもいいという点。それだけでも写真に見応えを感じますが、そこにライティングの妙が相まって一枚の強い作品に仕上がっています。逆光が作ってくれるドラマチックな情景を一枚にうまくまとめていますね。人の動き、吊るされた大根の様子などのシンプルな画面構成が秀逸です。

★ 金賞

「豊穰に向けて」



撮影場所：銚子市小船木町

撮影者：名雪 照子

作者の方のコメントからもわかりますが、これ電車の作品なんですよ。でもその電車よりも手前の水田の情景に目を奪われる。タイトル含め、テーマは後付けなんてことはよくあります。写真を一目見て伝わる思いや感情。農村の風景というこのコンテストの趣旨にかなった一枚。どのような撮影設定、もしくは画像処理が行われたかにも興味がつきません。

★ 銀賞

「あっ あぶない！」



撮影場所：柏市布施下

撮影者：野村 幸子

農道ではしばしば見かけるスズメの姿ですね。トラクターの走行音か振動に気付き一斉に飛び立つスズメの動きがタイミングよく撮影できています。初めは道路を歩くスズメ？を狙っていたのでしょうか？望遠レンズを使用しているの撮影と思われますが、遠景の圧縮効果とボケのバランスがいい写真です。

「沼の目覚め」



撮影場所：北印旛沼（印西市吉高付近）

撮影者：入岡 一郎

モヤがかかる遠景の木々の様子と鳥が留まる柵とのコントラストがキレイな一枚です。そして写り込みも画面にいいアクセントを添えています。黒い鳥は川鶺鴒のことですが、いつもの寝床なののでしょうか。ちょうど顔を上げて泣いている様な雰囲気も見えますね。柵の下に白鷺の様な鳥も一羽ひっそりと身をひそめています。

★ 銅 賞

「素掘りトンネル探検」



撮影場所：茂原市押日猪喰トンネル

撮影者：糸賀 一典

トンネル壁面に差し込む光の角度が最高ですね。直線的な画面構成ですが、トンネル上部のアーチを入れることで画面に緩急のアクセントをつけている点、作画の面白さを上手く演出している一枚です。フレーミングと構図のお手本になるような一枚に仕上げた作者のレベルをうかがい知ることのできる作品です。

「作付け」



撮影場所：横芝光町坂田

撮影者：渡邊 良一

一見欲張りな画面構成と思われがちですが、背景の梅は主張せずに、上手く季節感を演出してくれています。手前で作業している農家の方の動きにしっかりと焦点を当てているところがこの作品のポイントです。シャッターを切るタイミングはいくつかあり、セレクトにも迷うところですが、適切な一枚を選ばれたと思います。

「朝日に目覚める」



撮影場所：銚子市

撮影者：新田 幸雄

10月から翌6月にかけて収穫される銚子の春キャベツは千葉の特産として有名とのこと。9月の撮影ということですから、いよいよ収穫直前キャベツが大きく育ったタイミングで撮影できたのでしょう。太陽の光に照らされ、大きく開いたキャベツの葉一枚一枚が持つ存在感が伝わってくるような写真ですね。

★ 佳作

「出荷作業」



撮影場所：館山市坂井

撮影者：関口 英雄

ハイライトが画面奥にあるので自然と視線は作業場奥に向かいます。そして画面を中央で左右に二分する少し土汚れた通路のおかげで、まさに作業場感を一層演出してくれます。肩肘張った決まったフレーミングではなく、ラフな気持ちで現場の状況をつぶさに捉えたスナップ写真の面白さを見ることができる作品です。

「富士山を背にして田植作業」



撮影場所：印西市長門屋

撮影者：西脇 尚一郎

遠くに富士山が見えたら写したくなりますよね。ポイントは富士山のサイズ感です。この写真は富士山がそこまで大きく入らず、手前の水田の情景や作業の様子を邪魔していないという点が好印象です。少し望遠気味のようなのですが、少し広めのフレーミングにしてみてもうまくまとまったでしょう。

「田んぼが彩る朝」



撮影場所：白井市今井

撮影者：高橋 正男

川沿いの土手道に植えられることの多い土留の桜でしょうか。画面中心部にずっしりと構える姿が逆光の光に照らされ妖艶に彩られています。花のつきを見ると満開からやや散り始めようとしているところでしょうか。ですが未だしっかりとその力強い姿を見せてくれています。土手の奥には田んぼがあるようですが、もう少し見せても良かったかも…。

「農業体験」



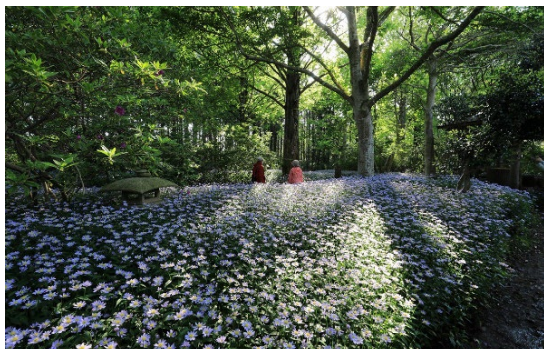
撮影場所：匝瑳市

撮影者：熱田 安夫

田植えの季節に学校が休みになるなんて遠い昔の話、現場では機械での田植えがほとんどとなっているわけですが、やはりこのような農業体験は大切な取り組みですね。何よりこの写真が面白いのが、作業をしている子供や大人の服装がバラバラで、カラフルなところ。なんとも写真になりやすい情景、一度は撮影してみたいですね。

★ 佳作

「 優美に咲く 」



撮影場所：香取市山倉

撮影者：石毛 忠男

逆光に彩られた、無数に咲く一面の紫の花（ブルーデージーでしょうか？）。明暗のコントラストが見せるライティングの美しさに注目できます。たまたま居合わせたのか、演出を狙ったのか、ミスマッチな人物の服の色。この作品で不思議に感じてしまうのは、人物配置の狙いになるでしょう。

「 早苗田の落日 」



撮影場所：成田市台方

撮影者：入岡 一郎

刈り取り後の水田の情景は盤石のアプローチですね。水田の写真としては定番のカットです。列の数、背景の入れ方、角度を含め、セレクトする焦点距離など、色々考え、赤く焼ける時間帯を狙うなど、さまざまな情報や知識に支えられて撮影できる写真なのではないかと思います。

「 幸せ運ぶコウノトリ 」

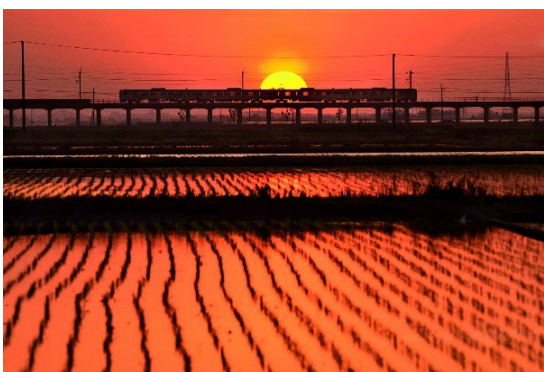


撮影場所：柏市利根土地改良区地先

撮影者：松丸 正

千葉県野田市では近年コウノトリを放鳥しているそうですね。柏市にも飛来するかもとのことでした。画面のほぼ中央の日の丸構図がシンプルでわかりやすく、青青した稲に浮かぶ真っ白な鳥との対比も見応えある一枚です。もしかするとタイトル通り運がいいのかもしれませんが。コウノトリの姿が今後千葉県の農村地帯の風物詩になることを願って。

「 水郷夕景 」



撮影場所：香取市与田浦

撮影者：森戸 延行

水田を横断するように走る高架橋でも有名な鉄道ですね。夕景の姿は非常にフォトジェニックですので、鉄道写真でもよく知られた情景です。とはいえ、真っ赤に焼け、なおかつ電車のタイミングもよく、撮れた瞬間心で「やった」と呟いてしまいそうな一枚です。当然キレイに夕陽が出る日ばかりではありませんから、感動もひとしおですね。